


# 審査結果報告書

2019年8月27日

主査 氏名 村雲芳樹 

副査 氏名 比企通樹 

副査 氏名 渋谷明隆 

副査 氏名 井上俊行 

1. 申請者氏名 : DM15009 河西奈津子

2. 論文テーマ :

Gene expression profile of genes related canceration, invasion or conversion for metastasis in patients with poorly differentiated gastric adenocarcinoma treated by gastric ESD

(内視鏡治療された胃低分化腺癌における、癌化・浸潤・形質転換に関連する遺伝子プロファイル)

3. 論文審査結果 :

本研究は、内視鏡的粘膜下層剥離術 (ESD) を施行された低分化型腺癌の早期胃癌症例の病理標本を用いて、癌の進展に関わる遺伝子について発現を解析したものである。レーザーマイクロダイゼクション (LMD) により正常粘膜、粘膜内病変部、粘膜下浸潤病変部をそれぞれ切り取り、RNA を抽出して real-time PCR にて癌関連遺伝子発現を検討した結果、腫瘍の進展に応じて発現が変化するいくつかの遺伝子を同定した。審査会では以下の点について討論を行った。

1. 本研究の結果を踏まえて、今後の研究をどのように展開するのか。
2. 粘膜内病変と粘膜下浸潤病変における遺伝子発現の意義は。
3. LMD の時に、間質の細胞はどのように処理したのか。
4. 組織型やその他の臨床情報と遺伝子発現との関連は。
5. 分化型腺癌の検討結果との違いはあるのか。
6. 抽出した RNA の quality のチェックは行ったか。
7. 免疫染色による蛋白発現の検討は行ったか。

症例数が少なく、現時点では検討課題が多く残るが、追加治療に対する層別化に有用な情報を与えるものと考えられる。今後の研究の発展が期待できる研究であると考えられるため、博士の学位にふさわしい研究であるとの結論に至った。